

市報

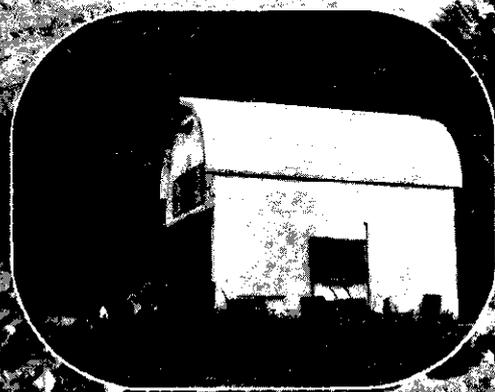
と お が ま ち

8/10

August

編集発行 / 十日町市役所 (電話 97-3111) 毎月10日 / 昭和32年6月5日第3種郵便物認可 (1部6円)

□274□



二年目を迎えた 水田再編対策事業

転作面積百五十八ヘクタール

毎年百七二一万トンの米を生産調整し、輸入にたよっている主要穀物を増産して、食糧の自給化を図ろうとして始められた水田利用再編対策事業がスタートして今年で二年目。

昨年は全国的に二一・三%の転作面積を達成したにもかかわらず、五十三年度米穀年度で政府古米在庫は約五百七十万トンとなり、今後の米需給計画に重大な影響を与える情勢を迎えています。市農林課では、このほど昭和五十四年度の水田再編対策の実

施計画状況をとりとめしました。それによると、農家の方々の協力により、百五・九ヘクタールの割り当てに対し百五十八ヘクタール(約一四九%)の達成を上げることが出来ました。昨年度に比べ十七・四ヘクタール(二一・三%)増加しています。

これは農業をとりまく情勢、なかんずく米をめぐる情勢、畑作自給率の向上の必要性が農家自身の理解と協力を得られたものと受けとめています。農家の方々のご協力に対して心からお礼申し上げます。

農家の方々の転作の対応等、現地確認してみますと、昨年よりはるかに意欲的に取り組み、むずかしい条件を克服し、すでに生産体制に入っている農家も相当ありました。

対象作物別では、一般作物三八・五%、管理転作三四・九%、特定作物二五・八%、永年作物〇・八%となっており、昨年に比べると、一般作物二〇・八%、管理転作一〇・三%、特定作物二・六%、永年作物九五・八%それぞれ伸びています。個々の作物では大豆、そば、

レンコン、アスパラ、トマトの伸びが目立ちました。市では、これらの結果を来年度以降の農業政策に生かして行くことにしています。

また、今年、水田再編諸対策のほか新しい試みとして、野菜生産者、市農協が主体となり「青空野菜市場」を開設しています。

これは、転換水田等から収穫された新鮮な健康野菜を消費者にお届けし、生産と消費を結びつけるのがねらいです。早くも生産者及び消費者の間から好評を呼びおこしています。以下転作の現地ルポをご紹介します。

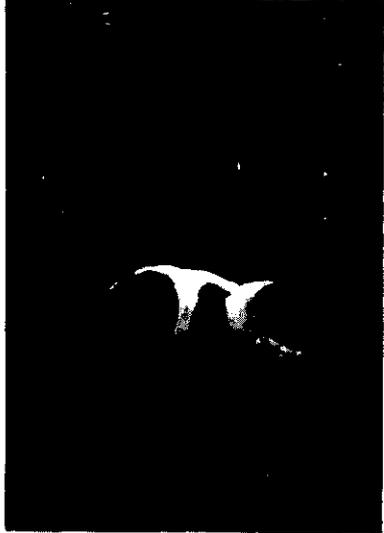


キャベツのあとにダイコンと白菜を 高橋 藤三郎さん(高山)

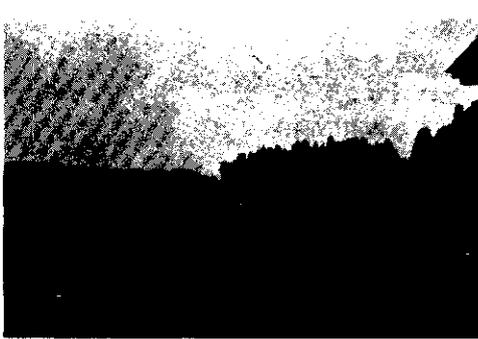
キャベツの収穫が終わって、次は、ダイコンと白菜をつくらんだぜ。キャベツは、800キロも収穫があったし、奨励金を入れば、米以上の収益はあがると思うがの。

今年、野菜栽培に精だします
小林利治さん(城之古)

今年の転作は、キュウリを八アール。他にトマトやナスなどの野菜作りに家族で種を出しています。農協や青果市場に出荷したり、ふり売りしてさばっています。



キュウリの促成栽培
城之古の羽根川地内には、ビニールハウスが並んでいます。高橋秀雄さん達が転作してキュウリの促成栽培をしているのです。このハウス、名産の三日月菜の栽培にも利用されます。



早朝、青空野菜市場
市農協会館裏

七月二十五日、野菜生産者、市農協が主体となった第一回、早朝、青空野菜市場が開かれました。新鮮で安い野菜が手に入ると利用者には好評でした。

地区別転作実績
(6月15日現在) (単位アール)

地区名	転作計画面積		伸び率
	昭和53年	昭和54年	
十日町地区	819	1,160	141.6
川治地区	1,476	1,631	110.5
中条地区	2,549	2,729	107.1
六箇地区	641	777	121.2
吉田地区	3,484	3,902	111.9
下条地区	1,717	1,980	115.3
水沢地区	3,430	3,680	107.3
合計	14,116 (10,900)	15,859 (10,590)	112.3

() 内は目標面積

作物別転作面積 (単位アール)

	作物	昭和53年		昭和54年		前年対比%
		面積	率%	面積	率%	
1 特定作物	大豆	2,351	16.7	2,242	14.1	
	そば	944	6.6	1,169	7.4	
	飼料作物	690	4.9	679	4.3	
	青刈稲	(502)		(585)		
	青刈とうもろこし	(86)		(32)		
	混播牧草	(73)		(44)		
	れんげ草他	(29)		(18)		
小計	3,985	28.2	4,090	25.8	102.6	
2 永年作物	アスパラガス	33	0.2	103	0.6	
	果樹(栗)	6	0.05	19	0.1	
	木本性作物	33	0.2	19	0.1	
	桑	(13)		(17)		
	花木	(20)		(2)		
小計	72	0.45	141	0.8	195.8	
3 一般作物	野菜	3,490	24.7	4,645	29.3	
	れんこん	(1,111)		(1,674)		
	かぼちゃ	(489)		(472)		
	キュウリ	(154)		(120)		
	トマト	(87)		(347)		
	ナス	(80)		(111)		
	里イモ他	(1,569)		(1,921)		
	豆類	46	0.3	100	0.6	
	その他	1,523	10.8	1,368	8.6	
	養魚池	(857)		(689)		
	榎林	(307)		(302)		
	タバコ	(263)		(226)		
	切花他	(96)		(151)		
小計	5,059	35.8	6,113	38.5	120.8	
4 管理転作	保全管理	5,000	35.4	5,515	34.9	110.3
合計		14,716	100.00	15,859	100.00	112.3

お米を見直すぞう

シリーズ No. 8

お米は日本人の心

消費者協会 十日町支部

昔からみずほの国といわれた日本、水に恵まれた日本の米はアジアのどこの国で作られる米よりもおいしいといわれます。いくら食生活が欧米化してパンがおいしいといっている人でも海外旅行の少しの間にも懐しい故国の米の味が忘れられず、ついでにお茶に色の良い漬物、そして一ぱいのお茶漬けが食べたいと感ずるそうです。

このように昔から米になじんだ日本人が何で米を食べなくなつたのでしょうか。米の生産高では決して日本の人口をまかなって行けないという話です。それでも余るといのは、近年急激に米の消費量が減ってきたことを適確に物語っているのではないのでしょうか。世界を一周するという種・パン類、消費者のフトコロ勘定でもその方が経済的なのではないでしょうか。

消費者(主に主婦)も家庭外で働くことの多くなった現在の生活状態の中で、手のかかる米よりもすぐ食べられるパン類等に人気が行ってしまうのか、また米はパン等比べて副食に手と金がかかるという経済面の一端もあるかもしれませんが、炊きたての温かいホカホカご飯に心のこもったおかずを食べるおいしさ、楽しさも日本人ならではの懐しい味。

経済も大事かも知れないけれど、それ以上の心の収穫も考えてみると、やっぱり日本人は米の国の民族、米をもう一度じっくりと見直してみたいものです。尚、消費者協会十日町支部として、米をおいしく食べるための食肉料理講習会等も十一月頃に予定しています。

(会長 藤田つね子)

全国消費実態調査にご協力を

ことしの9月～11月までの3カ月間にわたり、昭和54年全国消費実態調査が実施されます。

先日、知事から任命された調査員が調査対象地区の世帯を訪問して、世帯主の氏名・職業などをおたずねしましたが、今度1調査区から12世帯が抽出され、3カ月間家計簿をつけていただくことになっています。後日、抽出された世帯に調査員がうかがったときはご協力をお願いします。

なお、調査された事柄は、統計をつくるために使用され調査関係者が他に漏らすこと禁じられて、統計以外の目的に使用することは、法律で禁じられていますので、ありのままをお答え願います。

調査対象地区と担当調査員

- 1 調査区 西本町・本町6丁目3 樋熊幸治(稲荷町2)
- 2 調査区 山本町1・山本町3 西野繁(千歳町)
- 3 調査区 上町・中条旭町 和田潔(中条旭町)

なお、不明な点等は市商工課統計係(27-3111番内線243)へお問い合わせください。



家計簿は明日の暮らしのよろこびを



八箇地区青壮年部 検討会

八箇の振興プランの

第三回市民と語る日には、十組五十一人の市民が参加して、地区振興の壮大なプランから身近な切実な問題まで熱心に話しあわれました。

第3回 市民と語る日

十組五十一人が参加

地区内にプロジェクトチームを作って八箇の振興プランをたてています。八箇の振興には、一、住宅団地の誘致 二、南沢に多目的ダムの建設 三、立正教会管沼練成道場に通じる管沼、落之水線の改良 四、スカイラインの取付道路の新設などが考えられます。必要な施策を住宅団地は、県の住宅供給公社に積極的に働きかけて、ご期待にこたえられるよう努力しましょう。ダムは、来年、そこが建設可能地かどうか調査する予定です。市道管沼、落之水線は内部で研究中です。

人工腎臓透析患者は、長岡で透析を受けています。十日町病院にその施設の設置を。それまでは通院費の補助を。

十日町病院に施設が設置されるよう病院・県に継続要請します。小千谷病院には五十六年に開設予定です。通院費の補助は検討させていただきます。

十日町病院に人工腎臓透析の施設を



施設見学バス 発車しす ま～す

— 枯木又婦人学級生をのせて —



市では、市民の皆さんから、市の現状や仕事の実際を目で見たり、耳で聴いていただくために、毎年施設見学会を開催しています。今年もすでに十団体の申し込みがあり、盛況です。

7月31日には、枯木又婦人学級の19人の皆さんが、衛生センター、博物館、苗場山麓実験農場、卸売市場、魚沼スカイライン、立正佼成会菅沼練成道場などの施設を見学しました。

参加した枯木又の皆さんの声をおとして、施設見学会の様子をレポートしてみましよう。(今年の募集は締切らせていただきました)

◎ 博物館

※展示がわかりやすく、雪國の写真や織物の順序が細かに説明されていて興味深いものがありました。特に、民家を移転して再現した農家のくらしは、昔、見なれた懐かしいものが置いてあり、二層興味をそそられました。



北海道あたりの大きな博物館にはない、ほのぼのとした良さがありました。

※ 高機やイザリバタのマネキン人形や、織物の出来るまでの工程は、毎日出機を織っている私には特に興味がありました。
※ 民家の中のツグラの赤らちゃんをついあやしてしまいました。

◎ 衛生センター

※ 省エネルギーが叫ばれているのに、生ゴミから水がダラダラたれているゴミを燃やすのは余程のエネルギーがいるのでしようね。ゴミを出す人が気をつけないといけないですね。

※ し尿は、水とカスとガスに分離して、そのガスを燃料として利用していて、大変合理的な処理方法だと思いました。

※ あの悪臭の中で毎日仕事をしている皆さんご苦労さんです。

◎ 魚沼スカイライン

※ 魚沼スカイラインの当間山展望台の眺めは最高です。十日町の山地は広いんですね。
※ 車によわなければ良いがと思うくらい遠かったが、なんとも言えないいい景色だった。



◎ 市役所・市長室

※ いかめしいところかと思っていたが案外気楽なところだ。
※ 市長さんの応接間も暑いですね。
※ 枯木又のことも心配してくださっていてありがとうございます。



第24回十日町市社会福祉大会開催

社会福祉に関心をよせる市民が一堂に会し、「明日の社会福祉は如何にあるべきか」を考えようと、つぎのとおり第24回十日町市社会福祉大会を開催します。多数ご参加ください。

日時 8月22日(水)午後1時 会場 十日町市民会館
当日会場付近に小・中学生の図画を展示します。

講演 「明日の子供たちへ」講師丸山新七氏

第8回アビリンピック開催

身体障害者雇用促進協会では、第8回身体障害者技能競技大会(愛称アビリンピック)を、つぎの要領で開催します。

申込み 全国身体障害者技能競技大会参加選手推薦書(福祉事務所)に記入のうえ、福祉事務所へ提出してください。

申込み期限 8月25日(土)

日程 11月7日(水)～9日(金)

会場 雇用促進事業団 中央技能開発センター
(〒281千葉県六方町274番地 ☎0434-22-2224)

参加資格 つぎの(1)～(4)のすべてに該当する人であって、県知事の推薦を受けた人。

(1)身体障害者手帳所持者で、技能検定2級程度の能力を有する人。

(2)昭和54年11月7日現在で、競技職種にかかる訓練歴及び職歴の合計が15年をこえない人で満40歳未満の人。

(3)大会開催4カ月以内に医師の診断を受け、競技参加について適当と認められた旨証明された人(証明書の様式は指定のものを用いること)

(4)第1回から第7回までの大会で第1位に入賞したことがない人。

詳しいことは、市社会福祉事務所保護係(☎7-3111 番内線214)へ。

第7回 わかいしょの大運動会

第7回わかいしょの大運動会実行委員会では、秋空の下、十日町の若者が一堂に集い、汗を流し、語りあい、楽しい1日を過ごすことを目的に、つぎのとおりソフトボール大会を実施します。ふるってご参加ください。

期日 9月2日(日)雨天順延[9月9日(日)雨天中止]

会場 河川公園サッカーコート

参加対象 十日町市内、中魚沼郡内の若いしょ

参加費 1人100円

県民手帳予約募集中

新潟県統計協会では、県民の皆さんに広く利用していただくこと、1980年版の手帳「にいがた」を発行することになり、その予約募集を行っています。

発行時期 11月中旬

頒布価格 1冊250円

申込期間 8月31日

ご希望のかたは、市役所商工課または各出張所(吉田、水沢、下条、六箇)宛へ代金を添えてお申し込みください。



◎ 苗場山麓実験農場

※ 河岸段丘の開発に取り組まれるかたがたの話の聞き、また、開拓して新しい土地作りに挑戦している姿にふれ、実際に仕事をしている農家の人達の姿を見て心をとられました。

※ 十日町の農業発展のために、いろいろ工夫、研究している姿に将来の農業にあたたかい見通しを感じた。

※ この収穫物が卸売市場に出荷されるという話を聞いて、今日の見学会が1本のすじにまよりました。



◎ 卸売市場

※ 私達は、小売業者からばかり品物を買っているのが市場ははじめてです。この売買の仕方はどんなことをするのか興味があったが丁度セリがなくなって残念だった。次の機会に、是非セリをするところを見たい。

※ 食肉などの食物はほとんどここでまかなわれているそうなので、責任をもって出荷してください。

◎ 立正校成会菅沼練成道場

※ 山の中のあの建物には驚きました。成せば成るですね。

※ 一度行ってみたいと思っていたところですが、途中の道が悪く、思ったより遠かったです。建物は実に立派でした。

※ こんな立派な道場ができるのは、やっぱり信仰の力なんです。

◎ マイクロバスの中で

※ 市の施設見学会は、おととしこれで2回目ですが、年々新しい施設が出来てきますね。

※ クーラーがよくきいて快適でした!



5万市民の家計簿

53年度決算

～表とグラフでお知らせします～



市民一人当たりが負担する市税
3万6676円



市民一人当りに使われたお金
13万5662円

積極的に建設事業の実現をはかる

市のお金がどのように使われ、財政事情はどのようになっているのかを市民のみなさんに理解していただくため、毎年二回に分けて本市の財政事情を公表しています。

今回は、昭和五十三年度決算と昭和五十四年度六月末予算及び執行状況をお知らせします。

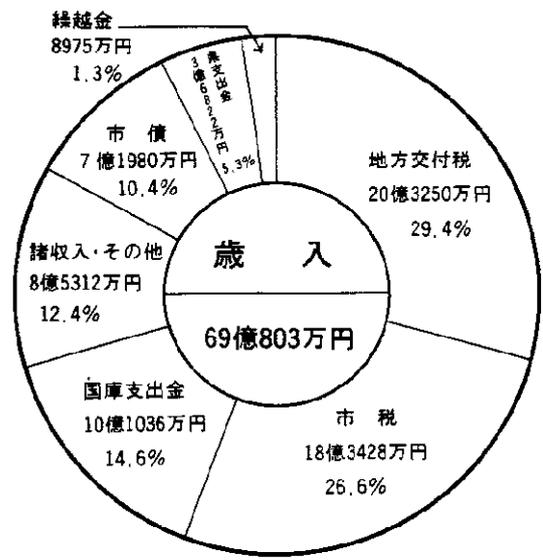
昭和五十三年度は、長期化した不況のため市税が伸び悩むなど厳しい状況下にあります。が、「道路交通網の整備」「教育文化の向上」「福祉行政の推進」を柱に、財政事情を十分勘案しながら予算を編成し、執行しました。

これからも、健全財政を維持しながら、明るく住みよいまちづくりを積極的に進めて行きます。

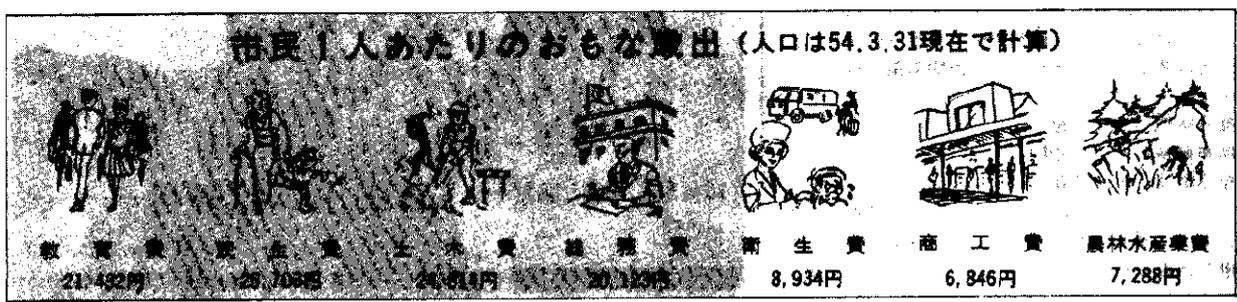
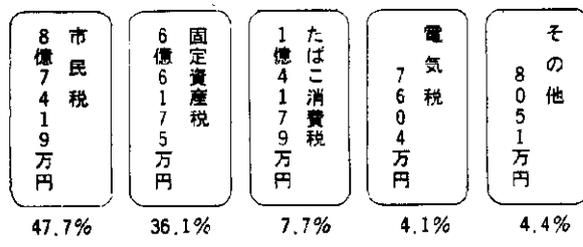
経常経費 36億520万円 53.1% 投資的経費 17億4842万円 25.8%	人件費 15億213万円 22.1%	民生費 12億8549万円 18.9%
	物件費 7.5% 5億603万円	土木費 12億4105万円 18.3%
	扶助費 9億6461万円 14.2%	教育費 10億7187万円 15.8%
	補助費等 6億3243万円 9.3%	総務費 10億640万円 14.8%
	普通建設費 16億3444万円 24.1%	公債費 7.8% 5億2605万円
	1億1398万円 災害復旧費 1.7%	衛生費 6.6% 4億4680万円
	公債費 7.8% 5億2568万円	農林水産業費 5.4% 3億6450万円
	貸付金 5.3% 3億6054万円	商工費 5.0% 3億4241万円
	その他 8.0% 5億4505万円	その他 2億7188万円 4.0%
	歳入 67億8489万円	消防費 2億2844万円 3.4%

翌年度繰越額 1億2314万円

一般会計



〈市税の状況〉 18億3428万円



おもな使いみち

総務費	
庁舎冷房工事	3,590万円
交通安全施設整備事業	830万円
民生費	
敬老祝金	1,108万円
老人医療費及び老人医療費助成事業	18,381万円
身体障害者福祉会館建設工事	1,395万円
衛生費	
妊産婦乳児医療費助成事業	1,277万円
へき地患者輸送雪上車	584万円
農林水産業費	
特定農山村振興特別対策事業補助金	2,161万円
農林水産業振興事業補助金	1,336万円
養蚕近代化促進対策事業費補助金	2,834万円
土地改良事業補助金	2,043万円
国土調査事業測量委託	2,146万円
林道開設事業	1,800万円
商工費	
魚沼スカイライン開発事業負担金	923万円
土木費	
市道新設改良舗装工事	30,052万円
道路改良に伴う用地買収費	3,273万円
国道改良工事負担金	3,848万円
道路改良に伴う家屋移転ほか補償費	7,383万円
消雪パイプ工事	5,620万円
除雪センター建築工事	4,192万円
ロータリー車	1,820万円
基礎集落圏管理棟建設工事	2,655万円
除雪ドーザ(2台)	2,156万円
河川改修工事	1,799万円
新座線改良工事	2,795万円
十日町公園造成工事ほか	1,520万円
田川公園団地建設工事	7,757万円
教育費	
むつみ幼稚園新設補助金	800万円
小学校整備及び修繕工事	2,639万円
鏡島小屋体改築工事	7,369万円
鏡島小特別教室建築工事	4,571万円
中条中建築工事	15,576万円
博物館整備事業	2,735万円
青少年スポーツセンター造成工事	2,679万円
信濃川運動公園造成工事	2,600万円
市営グラウンド設備整備ほか	1,105万円
災害復旧費	
農林災害復旧工事	5,601万円
土木災害復旧工事	3,931万円

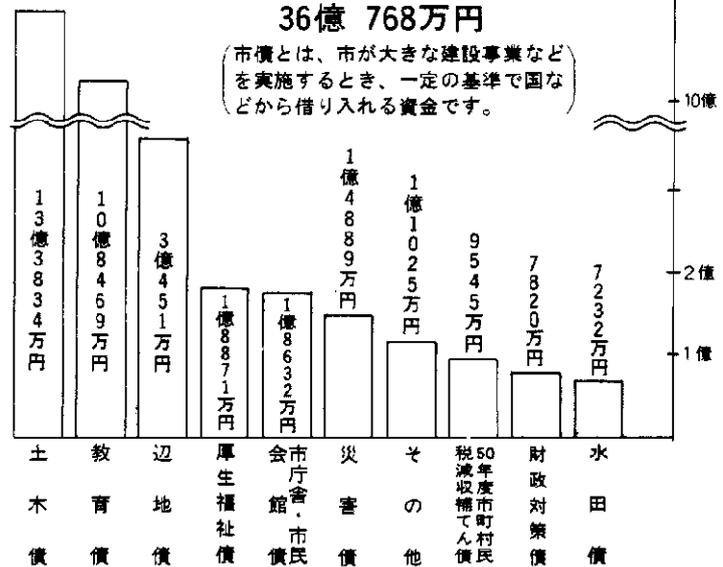


幼児用プールが完成

〈市債の状況〉

36億 768万円

(市債とは、市が大きな建設事業などを実施するとき、一定の基準で国などから借り入れる資金です。)



●学校基金

土地(市有地) 87,693㎡

土地(借地) 148,639㎡

●土地開発基金

土地 7643万円

20,695㎡

現金 1億3357万円

山林 12,473,435㎡

建物 114,417㎡

土地 13,269,181㎡

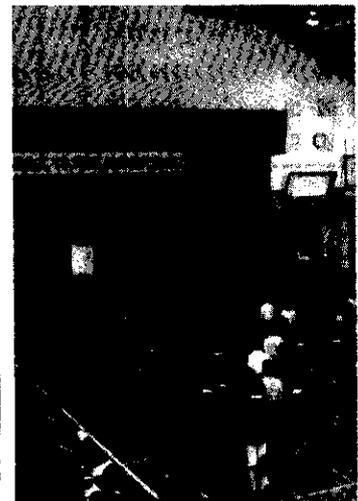
市有財産の状況

特別会計

<p>簡易水道</p> <p>歳入 2億9830万円</p> <p>歳出 2億9763万円</p> <p>差引 67万円</p>	<p>国民健康保険</p> <p>歳入 15億3397万円</p> <p>歳出 14億1460万円</p> <p>差引 1億1937万円</p>
<p>下水道事業</p> <p>歳入 5億3393万円</p> <p>歳出 5億3295万円</p> <p>差引 98万円</p>	<p>直営診療所</p> <p>歳入 2112万円</p> <p>歳出 2112万円</p> <p>差引 0</p>



博物館オープン



鏡島小体育館特別教室完成

目的別歳出予算

☆予算額 80億9008万円 ◇割合 100%

 商工費 ☆4億 4566万円 ◇5.5% ◎8,906円	 農林水産業費 ☆4億 2798万円 ◇5.3% ◎8,553円	 衛生費 ☆6億 9009万円 ◇8.5% ◎13,791円	 民生費 ☆15億 3028万円 ◇18.9% ◎30,581円	 総務費 ☆10億 1354万円 ◇12.5% ◎20,255円
 その他 ☆3億 1032万円 ◇3.8% ◎6,201円	 公債費 ☆5億 1008万円 ◇6.3% ◎10,193円	 教育費 ☆16億 8666万円 ◇20.9% ◎33,706円	 消防費 ☆2億 4953万円 ◇3.1% ◎4,987円	 土木費 ☆12億 2594万円 ◇15.2% ◎24,499円

◎市民1人当たり 161,672円(54.6.1現在の人口で計算)

54年度 執行状況 6月末予算及び

〈公共事業執行状況〉

◆6月末予算 38億9639万円
 〇執行済額 18億862万円
 (執行率 46.5%)

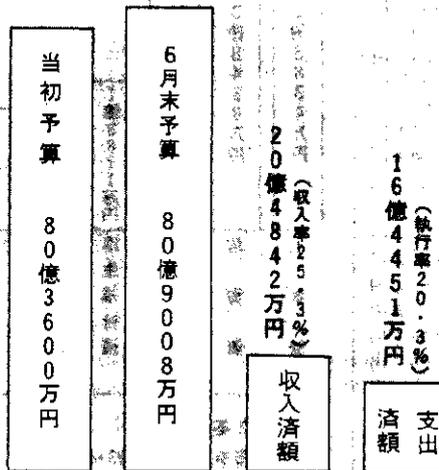
内 訳

普通建設事業

補助事業 ◆21億8474万円
 〇12億3573万円(56.6%)
 単独事業 ◆16億1189万円
 〇5億415万円(31.3%)

災害復旧事業

補助事業 ◆9976万円
 〇6874万円 (68.9%)



一般会計

〈市税の内訳〉

18億6170万円

市民税	8億6169万円
固定資産税	7億726万円
たばこ消費税	1億3539万円
電気税	7250万円
その他	8486万円

直営診療所



予算	2248万円
歳入	116万円
歳出	462万円
差引	△ 346万円

国民健康保険



予算	15億4024万円
歳入	4億109万円
歳出	1億4924万円
差引	2億5185万円

下水道事業

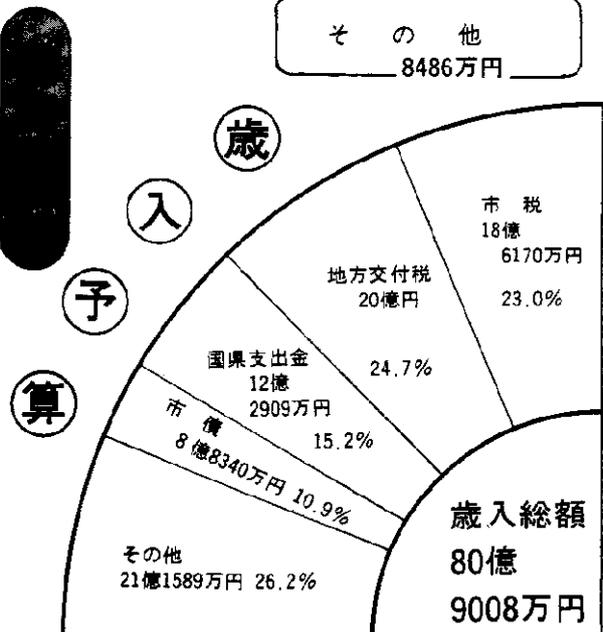


予算	10億900万円
歳入	1億3388万円
歳出	9610万円
差引	3778万円

簡易水道

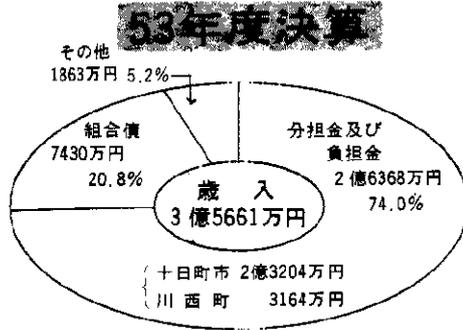


予算	6億6353万円
歳入	1403万円
歳出	1841万円
差引	△ 438万円





十日町市、川西町衛生施設組合とは、十日町市と川西町が共同で運営している組合です。
ごみ処理、し尿処理、火葬場の運営、管理をおして、文化的な市民生活をささえる柱となっております。また、松代町の委託処理もしています。



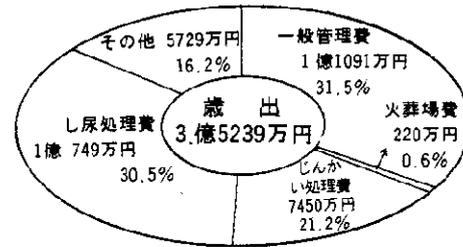
十日町市・川西町 衛生施設組合

54年度6月末予算執行状況

当初予算 3億2990万円	6月末予算 3億2990万円	収入済額 7456万円	支出済額 6269万円
		23%	19%

組合債の状況

- ごみ処理施設 1億6251万円
- し尿処理施設 2億8748万円
- 埋立地整備車掃 719万円



一部事務組合の家計簿

表とグラフでお知らせします。

一般会計

歳出 4億6888万円		歳入 4億7937万円	
消防費	常備消防費 2億6542万円 (56.5%)	分担金及び負担金	十日町市 2億2609万円 (47.2%)
	非常備消防費 8745万円 (18.7%)	繰越金	川西町 8067万円 (16.8%)
	消防施設費 8010万円 (17.1%)		津南町 9675万円 (20.2%)
	その他 3591万円 (7.6%)		中里村 4643万円 (9.7%)
			その他 2943万円 (6.1%)

53年度決算



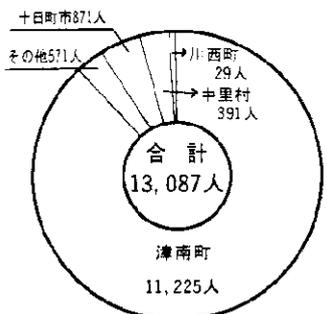
十日町地域事務組合

十日町地域広域事務組合とは、十日町市、川西町、津南町、中里村が資金を出しあって運営している組合です。
四市町村が一体となって、広域的な消防体制、と畜場、総合福祉センター（御陣荘）の各事業を行っており、郡・市8万住民の安定的な暮らしを守る仕事を、一手にこなしています。

と畜場 1億4551万円	消防庁舎 9603万円	福祉センター 3830万円	消防関係 2927万円
借入先別	第四銀行 160万円	新潟県 190万円	共済組合 3878万円
	郵政省 7603万円	大蔵省 1億9080万円	

特別会計 (単位：万円)

会計名	歳入	歳出	差引
総合福祉センター	1554	1476	78
と畜場事業	9909	9612	297
計	11463	11088	375



「御陣荘」利用状況

会計名	当初予算	収入済額	支出済額
総合福祉センター	1408	604	188
と畜場事業	2769	847	281
計	4177	1451	469

一般会計

当初予算 5億628万円	6月末予算 5億628万円	収入済額 1億3499万円	支出済額 1億1707万円
		27%	23%

54年6月末予算執行状況

博物館 夏の特別展「のおしらせ」



博物館では、八月四日(土)から三十一日(金)まで、夏期特別展として「木の文化展」を開催しています。

これは、昔から人々の生活に密接にかかわってきた木の民具を通して、木と人々のくらしを考えてみようというものです。今回は特に「ゴシキ」と「キバチ」づくりが中心です。

島田 長作	津南町赤次
徳山 忠雄	二ツ屋
多田 滋	小貫
田中 昭治	稲荷町四
庭野 忠郎	赤倉
近藤 勇	原
岩田 敬作	中倉新田
田村 政治	旗形町
金子 芳夫	稲荷町(本通り)
金沢 一勇	南雲
渡間 秀三	本町三
滝沢 壮治	田中町東
山田 スギ	津南町結東
ぬりぎ仏壇店	高日町二
藤間 定一	栄町
北村 哲郎	東京都
庭野 正芳	五軒新田
大島 弘	稲荷町一
飯塚 茂夫	南雲
田村 敏雄	中条旭町
田村 角次	上田原
萬瀬 勝	八幡
山田 力三	本町七の二
阿部友治郎	四日町新田
滝沢 栄輔	本町東一
小澤 保	名ヶ山

博物館資料ありがとうございました(3月~7月分)

滝沢 秀一	津南町赤次
小沢電氣店	西浅川原
阿部 隆治	千代田町
高橋 勝國	高山第四
池田 正巳	高日町三南
池田 亨	六日町余川
小林 イト	西本町一
高木 孝雄	袋町東
庭野 重信	西寺町
庭野 重松	住吉町
野上 穰	高島第二
田村喜一郎	博 沢
十日町織物工業協同組合	西寺町
若井 米蔵	稲荷町三本通り
村山 博	稲荷町三北
佐藤 利夫	相川町長坂
金沢 善作	姿
宮内 タケ	山本二
神谷 栄子	東京都
波間 幸三	本町五
佐藤 巳作	新光寺
根津 勢一	江道
熊木 里一	稲荷町三南
関口 ミツ	泉町
高橋 建策	蟹沢

また、民具づくりの実際を知ってみたいと、秋山から製作者を招き、キバチづくりの実際もおこないます。

※実演日
八月十六日(木)・二十七日(月)

※実演時間
午前十時~正午
午後一時~午後三時

◎八月二十七日(月)は、休館日ですが、休まず平常通り開館しています。

お問い合わせは、番じ一五五三一番。

「戦争を考える会」のご案内

水曜会(去年の青年大学講座OB会)では、戦争体験が風化しがちな中でも一度「戦争」を考えてみよう、「戦争」を考える会(映画会とシンポジウム)を企画しました。

多数ご参加ください。

映画会
八月十九日
一回目 午後二時
二回目 午後六時

「軍旗はためく下に」 結成
昌治原作 深作欣二監督、丹波哲郎主演
「わたしは兵になりたい」
橋本忍脚本・監督 フランキー堺主演
会費 五百円
会場 十日町公民館
シンポジウム
八月二十二日(水)午後七時

あの時をいかに

シリーズ No.5

終戦の日

昭和20年8月15日



出来ぬものであった。私は、直ちに未入営の合宿部隊を解散し、各人帰宅するよう指示して部隊本部に帰り、幹部と共に地区司令部よりの命令を待っていた。

翌十六日も暑い日が続いた。米軍B29爆撃機が伊達原に急造された飛行場や十日町市街の上を低空で旋回していた。また、巷には流言が乱れ飛び人心も動揺していた。

漸く敗戦の実感が湧き、いまだ海外にいる数の方の将兵同胞のことを思うと断腸の思い切なるものがあった。

今、我が国は経済大国として、平和に暮らしているが、その陰に幾百万の英霊の犠牲があったことを忘れてはならない。

思い出せばあの日も、もはや三十四年の昔となった。(田村英太郎)

昭和二十年八月十五日、あの日は真夏の太陽が照りつける暑い日であった。

その頃は大東亜戦争の戦勢、日に日に振わず、本土の重要都市が爆撃され沖縄も米軍の手に陥り広島、長崎に原子爆弾が投下され、米軍の本土上陸必至の情勢であり、国民挙げて本土決戦に備え全国各地に特設警備隊が組織された。中魚沼地区では十日町、千手、大割野に設置され本部を十日町に置き、万一場合の防衛召集の準備に万全を期していた。

一方在郷軍人会では、数年前よりお盆休みを返上して郡内を四地区に分け、小学校に三泊四日

「戦争体験がどう生きているか」
講師 松井愛美氏(牧師)
中林秀一郎(中条地区公民館長) 上村三恵子(主婦)

日間未入営補充兵の合宿訓練を実施していた。

私は部隊と郷軍の責任者として各地区を巡回し、八月十五日には秋成の合宿地に行く予定のところ十四日夜、新潟地区司令部より、明十五日正午重大放送がある旨の連絡があったので、電気会社に昼間も送電するように交渉、秋成小学校に訓練参加者及び村民を集め放送を聴くよう手配をした。

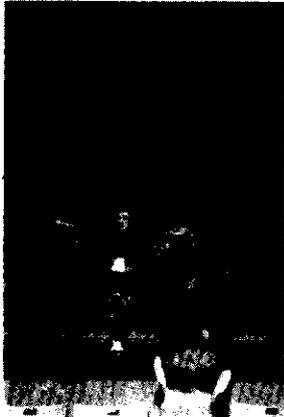
皆、本土決戦に対する激励のお言葉があるものと思ひ全員緊張して、不動の姿勢で耳を傾けていた。玉音はハッキリ聞き取れなかったが、ポツダム宣言受諾終戦のお言葉であった。一同頭を垂れ、全員声なく嗚咽する者もあった。我が国は無条件降伏し永年に亘った苛酷の戦争は遂に終わったのだ。その時の私共の胸中には到底言葉に表わすことは



第5回市民芸能祭

参加団体募集!!

十日町公民館(☎7-5011番)



年々文化的気運が高まっています。市内の芸能団体、グループの日常活動を広く市民に発表していただくために市民芸能祭を開催します。ふるってご参加ください。

対象 市内の音楽、演劇、民謡(謡)、詩吟などで、市民会館ホールで発表できるアマチュアの団体、グループ(使用料は無料)申し込み 九月十日までに市民会館へ。

市展 出品してみませんか

今年から工芸部門を新設

第十二回市展が十月十二日(土)四日まで市民会館で開かれます。公民館市展係では次のとおり出品作品を募集しています。あなたも出品してみませんか。

- 作品
 - 第一部 日本画(額ぶち付)
 - 第二部 洋画(油絵、水彩、パステル、版画(百号まで額ぶち付))
 - 第三部 新しい美術(常識以上の大きさを越えないこと)
 - 第四部 彫塑(常識以上の大きさを越えないこと)
 - 第五部 工芸(染・織・焼物・漆・革・金属・木・竹)
- 審査員
 - 日本画・洋画・新しい美術 瀨木慎一(美術評論家)
 - 彫塑・工芸 小磯 稔(新潟大学教育学部 助教授)
- 賞
 - 市展賞・奨励賞・佳作賞
 - 発表賞(市報・地元新聞)
- 詳細は、市民会館市展係(☎七-五〇二番)か地区公民館へ。

九時〜午後八時半までに市民会館(本館)へ。

わら・紙工芸など常識以上の大きさを越えないこと)

第六部 書道(全紙四分の一につき以内、枠張り表装ガラス枠は不可、積文票添付、積文票はペン書も可)

第七部 写真(半切以上全倍まで、組写真は長辺一メートル五センチまで、パネル張り、ガラス張りは不可)

出品料(各部門とも一般一点七百元、高校生以下五百円)

出品点数(一人一部門につき二点以内)

搬入(十月六日(土)午前)

星空のつどい

★★★★★

真夏の空を見上げてみよう。肉眼では見えない、ファンタジックな世界にひたってみよう。

十日町星の会(会長大島敏夫)では、次の日程で「星空のつどい」を計画しています。おもな観望対象は、星座、星雲、星団、二重星、月などです。夕涼みがてら、親子づれで参加してみたいかがでしょうか。

日時・会場
八月十八日 午後七時〜九時 川治地区公民館
八月二十三日 午後二時〜九時 水沢小グラウンド

※いづれも、雨天、曇天の場合は翌日。詳細問い合わせは大島敏夫さん(☎二二五九四番)へ。

ダイヤモンドを庭先にぶどうづくり教室

水沢地区公民館



たわわに実った大きなぶぶはいっそう食欲をそそります。手づくりの味が再認識されていますが、「ぶどう」も例外ではありません。ちよつとしたコッさえマスターすれば、ぶぶうは誰にでも作れます。わずかなスペースがあれば、庭先に豊かな実をらせることができます。

自ら育て、自然に親しみ、趣味と実益を兼ねて、あなたもぶぶうづくりに挑戦しましょう。という水沢地区公民館の呼びかけに、

三十二名の生徒が集まりました。講師は、小林哲夫(県農業改良普及員)先生です。四月から教室を開始しました。

四月…苗の植え方、苗の伸ばし方、花振り現象などを勉強しました。

五月…ぶぶうの苗を植えてある生徒の家の庭先で現場実習です。

芽かきの方法、たなのかけ方、病害虫防除の薬品の作り方、消毒の方法などを学びました。

六月…前回と同じく現場実習です。かなり、枝、葉が成長しており、剪定の方法を中心にさまざまな管理技術をおそわりました。

以後、育成上のポイントの時期をとらえて、教室を開きました。あちこの生徒のお宅をたずねての現場実習を通じて感ずることは、いづれのぶぶうの木もよく茂り過ぎていくということです。これでは、良いぶぶうはできません。思いきった剪定をおこない、つる・枝・葉の数を相当少なくする必要があります。



自分の植えたぶぶうの木に、先生が実地指導を施してくれるという事で生徒も大喜びです。こんどはあちこのお宅の庭さき、次はこらのお宅の庭さきといった具合に先生もひっぱりだこです。

二十歳位の若いから、七歳をこえたかたまで、いろいろな生徒が楽しいぶぶうづくりに精を出しています。大きなダイヤモンドのつづが実ったら、みんなで持ち寄っての賞味大会も考えています。

緑と空間と大ぶぶうのぶぶうのおりなす庭さきのコントラストは、きつと生活にうるおいとハリをもたらしてくれるでしょう。

むだ使いから心づかいへ

省エネルギーに協力しましょう

私たちの生活は、石油、電気、ガスなどのエネルギーに支えられています。しかし、これらのエネルギーは大部分を外国からの輸入に依存しています。

特に石油については、大量に輸入し、たくさん使うことが難しくなりつつあります。このようなか中で、豊かな私たちの生活を確保して行くためには、不必要なエネルギーの節約をしなければなりません。

省エネルギーを生活習慣の中に取り入れるよう、お互いが協力し合います。

「暮らしの中の省エネルギー」についての私の提案を募集し、経済企画庁へ

■提案の内容 ○暮らしの中で

●送り先 新潟県生活環境部消費生活課(〒951-1 新潟市学校町通一番町六〇二)

●入選及び発表 特賞(三名) 優秀賞(若干名) 佳作(若干名) 入選発表は十二月中旬、入選者に通知します。

●締切 十月一日(当日消印有効)

のエネルギーの上手な使い方
○エネルギー節約の具体的実践例
○生活の中でエネルギーを無駄なく大切に使うための方法

■原稿 四百字詰原稿用紙五枚程度 横書にし、左肩をとじ、末尾に氏名、住所、電話番号、職業、年齢を明記してください。応募原稿は返却しません。入選作品の著作権は経済企画庁に帰属します。



地域ぐるみの献血運動

下条献血推進協力会

8月2日、下条献血推進協力会(会長小島松三郎)の呼びかけで283人の地区の人達が献血しました。この献血運動は、地区の囃子会、婦人会、体協、商工青年部、建築組合など地区内の十団体が協力して行ったものです。推進役の1人商工青年部の田中さんは「2/3ぐらいが初めて献血した人達です。来年もやりたい。将来は下条地区1人1人の血液型台帳をつくりたい」と話していました。

今月の納税

市民税第二期
国民健康保険料第三期

納期限は八月三十一日



○川西町、霧谷ではゴミの山が谷を埋めて行きます(表紙写真)

年金時代



～老後にゆとりを～

強制加入者
三十七歳がタイムリミットです

国民年金は必ず加入しなければならぬ。強制加入者で任意加入者のA子。二通りあり、前回のA子

さんのようにサラリーマンの奥さんは任意加入の人達だ。強制加入者は、農業、商業、自由業などにたずさわら、夫妻ともに厚生年金など他の年金に加入していない人たちのグループだ。市内で商店を営んでいるS氏。昭和十六年四月生れだから三十八歳だ。奥さんも家業を手伝っている。七月初旬、商店会の集りでS氏は初めて年金制度のしくみと恩恵を知った。自分の老後のことなど無関心だったS氏も、ここで本気になった。しか

し、いま、すでに三十八歳。六十歳まで年金保険料を納め続けても二十二年だ。国民年金の受給資格期間は二十五だから、三年足りない。思い余ってS氏は市民課年金係を訪れた。応待に出た職員の日君はすぐにこんな質問をした。「Sさん、あなた若いころお勤めの経験はないですか?」

S氏は、高卒直後二年間のサラリーマン生活を思い出した。日君は早速、長岡社会保険事務所へ問い合わせた。そこで三年間の厚生年金が登録されていたので、S氏は、国民年金と合わせて二十五年とな

り年金を貰える人であることがわかった。S氏は、国年加入手続きのとき、保険料口座振替の申し込みも行った。昭和十七年四月から十八年四月一日までに生まれたかた、いますぐ加入しないと年数がたりなくなりますよ!

■五十五年六月三十日までなら特例納付ができます。

事例のように、三十七歳が年金加入のタイムリミットですが、強制加入者に限って、今なら、過去の未納分を一カ月四千円の割合で納付できます。くわしいことは市民課国民年金係へ。

寄付ありがとう

社会福祉事業へ

▼田村保雄(諏訪町) 五万円 (香典返し) ▼池田ケン子・俵山ひさ子(中条中町) 二万円 (香典返し) ▼阿部徳太郎中条旭町) 三万円 (香典返し) ▼内藤直義(控木) 千円 (香典返し)

停電のお知らせ

▼八月十一日(土) 午前三時～七時半まで 稲荷町三丁目一部 稲荷町西、稲荷町三北一部、西本町一・二、八幡町一部、下川原町、南新田町、本町七丁目一・二の一部、四日町新田一・二・三・四、四日町第一の一部

▼八月十一日(土) 午前九時～午後一時まで 為永、四日町二・三・四、尾崎、太子堂、中条旭町、中条中町、下町、中条島、峠の各一部、中条新田、北原、上新田、山際、原、甘日城

▼八月二十三日(木) 午前九時～正午まで 高田町三西一部、島、千代田町、稲荷町三・四丁目各一部

▼八月三十日(木) 午前九時～午後一時まで 為永、山根、仙之山、塩野、願入、滝野、二子

(七月二十五日発行の市報お知らせ版で、八月十一日の停電時間が午後三時～七時半となっていますが、午前三時～七時半の誤りですので訂正します)

○今年も施設見学会にたくさん申込みがあり、事務局は嬉しい悲鳴です。枯木又婦人学級の皆さんから施設見学会のレポートをもらいました。実際に市の仕事を見ていただいて、「衛生センターで働く人は大変ですね。ご苦労さまですー」と言われ、同じ職員として嬉しくなりました。